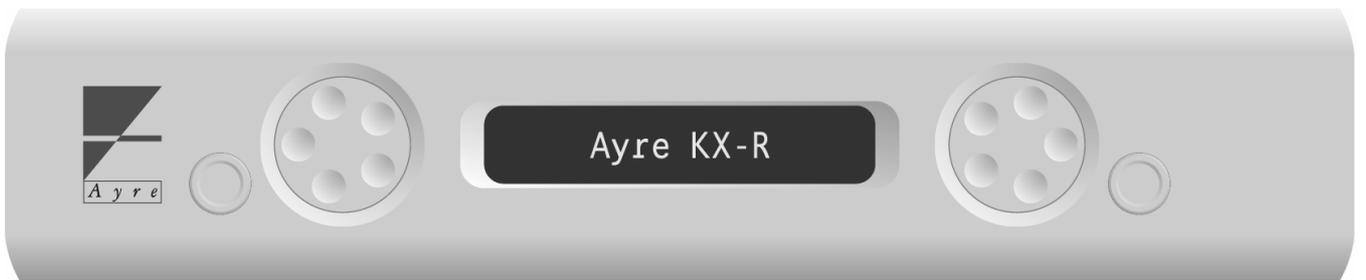


Ayre

KX-R Preamplifier
Owner's Manual



[取扱説明書]

Contents/目次

Welcome to Ayre/はじめに/諸注意(使用/設置/接続) 3

Connections/接続. 4

Operation/操作のしかた. 6

Remote Control/リモート・コントローラー. 10

Customization/カスタム設定. 11

Fuse/ヒューズ. 16

Trouble/トラブル. 17

Battery/リモート・コントローラーの電池装着/電池取扱の注意. 18

Specifications/主な仕様. 19

Warranty/保証. 20

セットアップ/コンフィギュレーション. 巻末

Welcome to Ayre/はじめに

- このたびは、Ayre 製品をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
Ayre KX-R は Ayre 最先端のテクノロジーによって、優れた分解能とナチュラルで心地よい音質を同時に達成したステレオ・プリアンプです。ライブパフォーマンスの熱気と臨場感が、初めて音をお聴きいただいた瞬間にも鮮明に感じ取っていただけることでしょう。KX-R は生涯にわたって、音楽に浸る喜びをお約束します。
- 本取扱説明書には、本機の設置や操作についての重要な情報が含まれています。
- 本説明書を一通りお読みの上、設置や操作の詳細について充分にご理解いただき、正しくご使用の上、末長くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。



■ご使用上の諸注意

- n 本機の性能を十分に引き出し、また安全にご使用いただくため、以下の点にご注意ください。
- n 火災や感電等の危険を避けるため、湿気の多い場所や水のかかる場所で本機を使用しないでください。
- n 火災や感電等の危険を避けるため、本機の底板を取り外さないでください。内部にはお客様に調整していただく部品はありません。専門の技術者におまかせください。
- n 本機を、水のかかりやすい場所、湿気の多い場所で使用しないでください。また水がかかった時は、すぐに電源コードをコンセントから抜いてください。
- n 本機を、暖炉やストーブなど熱源の近く、あるいは熱を発生する機器の付近で使用しないでください。
- n 本機を、直射日光の当る場所、あるいは低温になる場所で使用しないでください。
- n 本機は指定された電源以外では使用しないでください。
- n 本機のお手入れには柔らかい布をご使用ください。水やダストスプレー、溶剤、研磨剤、クリーニング剤等を直接シャーンに付けることは避けてください。

[設置について]

- オーバーヒート防止のため、本機の両側、ならびに上方には通気を確保する空きを設けてください。
- フロントパネル中央ディスプレイ部にリモート・コントローラーの受光部がありますので、ラック内に設置するような場合、受光部が扉などで隠れてしまわないよう、ご注意ください。リモート・コントローラーは、赤外線を使用していますので、ガラスなどは問題なく透過します。

[接続の前に]

- 接続は、本機および接続する機器の電源コードをすべて抜いてから始めてください。



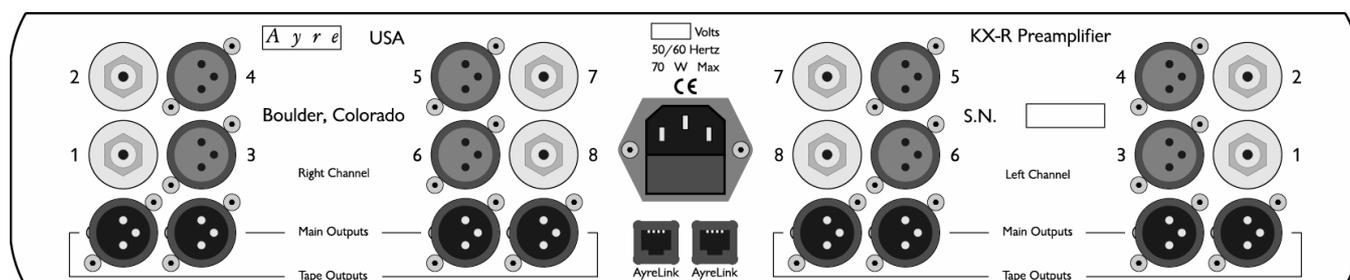
■付属の電源コードの取扱いについて

- 本機に付属している電源コードは、本機専用のものです。他の機器にはご使用になれません。

Connections/接続

■ 入力

- 1 本機はバランス(XLR 端子)/シングルエンド(RCA 端子)各4組の入力を備えています。
- 1 1番～8番の L/R 各入力は左右対称に配置されています。
 - 1 バランス(XLR 端子)は、1番グラウンド、2番ホット、3番コールドです。



■ 出力

- 1 本機には、2組のバランス(XLR 端子)の出力を装備しています。
- 1 バランス出力端子は同時使用出来ます。

注 シングルエンド機器と接続する場合は、販売店にご相談の上、エアー社製アダプターをご使用下さい。
(シングルエンド出力はバランス出力よりも出力レベルが6dB 低くなります。)

■ テープ出力

- 1 本機は、2組の XLR 端子のテープ出力を装備しています。
 - 注** 変換アンプ(シングルエンド入力信号→バランス出力信号)は入っていないので、バランス入力信号はそのままバランス出力され、シングルエンド入力信号はシングルエンド信号のまま XLR 端子から出力されます。
- 1 テープ出力の ON/OFF は、リモート・コントローラーで操作します。
 - 1 テープ出力を ON にすると出力される機器の名前がディスプレイに反転表示されます。
 - 注** 本機はテープ出力を OFF にすると、グラウンドループを避ける為、機器が接続されていても完全に外部機器と回路上切り離されます。
 - 注** シングルエンド機器と接続する場合は、販売店にご相談の上、エアー社製アダプターをご使用下さい。

■ エアーリンク・ポート

- I 本機は、二個のエアーリンク・ポートを装備しています。それぞれのポートはインプットとしてもアウトプットとしても機能します。エアーリンク接続をすると、独立したそれぞれの機器をまるで一つの機器のように操作することが出来ます。

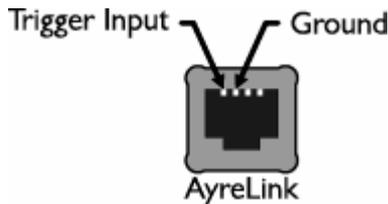
- I エアーリンク接続で使用できるケーブルは、四接点モジュラープラグ(RJ-11)のクロス結線タイプになります。
 - 注 両端のモジュラープラグをロック用の爪を上にして、同じ向きに並べ両コネクタとも左側から黄色・緑・赤・黒という並び方になっていればストレート結線タイプで、それぞれが逆の順になっていればクロス結線タイプになります。
 - 注 RJ-11 - 電話機用に広く用いられているコネクタ形状です。家電量販店等で一般に販売されているケーブルはストレート結線タイプになりますのでご注意ください
 - 注 エアーリンク接続には二接点の RJ-11 モジュラープラグは使用できません。(モジュラープラグ内の接点数でご確認いただけます。)

- I エアーリンク接続では、一つの機器からその次の機器へと数珠繋ぎに接続するデジジー・チェーン方式を採用しています。
 - 注 デジジー・チェーン方式とは、必ず一つの機器から別の一つの機器に繋ぎ、さらにまたその機器から次の機器に繋ぐ方式です。(一つの機器から並列に複数の機器に繋いだ場合や、ループ状に接続するとエアーリンクは正しく機能しません。)

● トリガーコントロールとしての利用

- I 本機の二個のエアーク・ポートは、エアーク接続とトリガー入力端子として同時使用出来ます。トリガー入力端子は他機器からのスタンバイ/パワーON 信号を受けられます。

例: ソース機器と KX-R をトリガー接続で、KX-R と MX-R をエアーク接続するとソース機器のパワーON で KX-R と MX-R が連動してパワーON になります。



- I トリガー出力機器が本機採用の端子(モジュラー・コネクタ RJ-11)を採用していない場合はアダプター・ケーブルが必要です。RJ-11 を採用しているケーブル(壁コネクタから電話機に使われる 4 接点の端子のケーブル)の一端を取り除き、出力機器が採用しているコネクタに取り替えます。出力機器のコネクタの詳細は、出力機器の取扱説明書を参照ください。
- I トリガー電圧の許容範囲は、5V~12V、ポートの消費電流は 5mA です。
- I トリガー信号には、レベル・モードとパルス・モードがあり、KX-R は自動的にどちらも認識します。トリガー接続時でも本体のスタンバイ/パワーON 操作は可能です。トリガー接続時に本体のスタンバイ/パワーON を押すとトリガー出力機器との同期が解除されます。レベル・モード時には、トリガー出力機器の電源 ON/OFF により同期は復活します。パルス・モード時に、同期を復活するには再度本体のスタンバイ/パワーON 押してください。

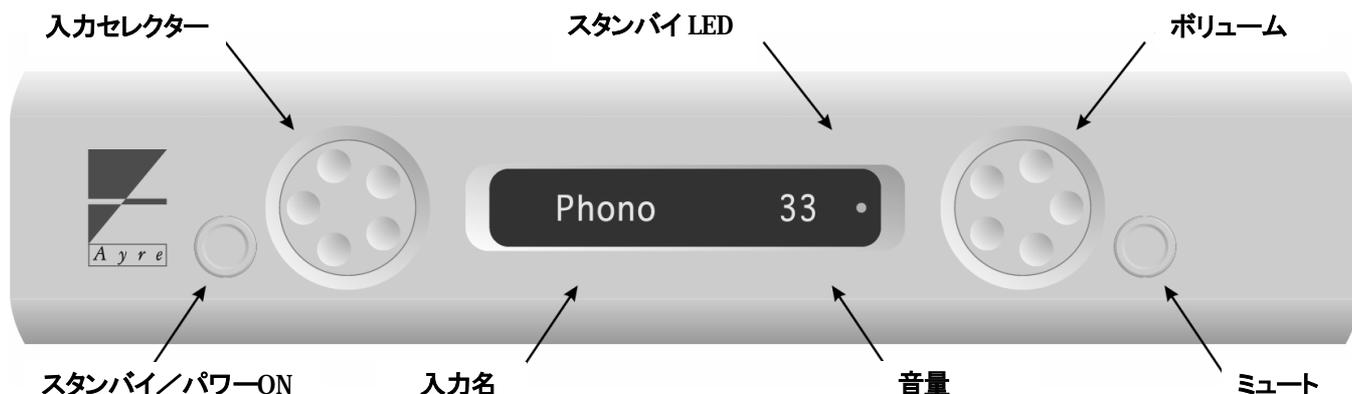
■ AC 電源

- I 付属の電源コードを、電源容量の十分ある100VのAC壁コンセントに直接接続します。延長コードのご使用は避けてください。また、本機は特にACライン・コンディショナーやフィルターを必要としませんが、ご使用になる場合は、本機の消費電力をカバーする容量が必要です。

■ ブレーク・イン

- I 一般的にオーディオ機器は配線材やコンデンサーなどの特性により、機器がベストコンディションに達するまで音楽再生による「ブレーク・イン」運転が必要です。そのブレーク・インとして、本機では100~500時間程度を要します。

Operation/操作のしかた



- I 最高の音質を余すところ無く引き出す為、本機のボリュームコントロールと入力セクターはカスタムメイド銀接点のロータリースイッチを採用し、それらは軍用規格のミルスペックを満たし高品質と高寿命を実現しています。航空宇宙技術“fly-by-wire”コントロールを取り入れたモーターによりロータリースイッチは動作します。ノブの回転によりオプティカル・エンコーダーから発生した電気信号は、マイクロプロセッサに伝達されステッピングモーターを動作させます。フロントパネルの2つのボタンは、密閉式の圧電素子センサーを採用しています。接点が無い為接触不良等のトラブルから開放されました。

注 圧力をセンサーで感知しますのでボタン自体は動きません。センサーはボタンを押す操作や軽いタップに反応します。触れるだけやゆっくり加えられる圧力には反応しません。フロントパネルによる操作は、リモート・コントローラーでも同様に操作できます。

I スタンバイ/パワーON Standby/Operate

- I スタンバイ/パワーONは左ボタン  またはリモート・コントローラーの  ボタンで操作します。

スタンバイ/パワーON

●パワーONになります。もう1度押すとスタンバイに戻ります。

注 スタンバイ時には、ディスプレイ右側に緑のLEDが点灯します。

I 入力セクター/Input Select

- I 入力の切り替えは左ノブ  またはリモート・コントローラーの  (Select) ボタンを押します。

入力切替

●入力機器を切り替え、入力名称がディスプレイに表示されます

I ボリューム/Volume Control

- I 音量を調節するには、右ノブ  またはリモート・コントローラーの  (Volume) ボタンを押します。

音量調節

●1dB ずつ 60 ステップの音量調節が出来ます。

(1~60の数字がディスプレイに表示されます。)

注 60の次に最大音量を表す"MAX"が表示されます。

注 本機は、スタンバイ後および電源ケーブルを抜いてもそれまでのボリューム・レベルを記憶しています。パワーONの際は、音量にご注意下さい。

I ミュート/Mute

- 音量をミュートするには、右ボタン  本体またはリモート・コントローラーの  ボタンを押します。

ミュート ON/OFF

●音量が一時的に“0”になります。もう一度押すと元に戻ります。

注 ディスプレイの音量レベル数字がミュート中は反転表示になります。

I ディスプレイ輝度/Display Brightness

- ディスプレイ輝度を変更するには、リモート・コントローラーの  ボタンを押します。

ディスプレイ輝度調節
(リモート・コントローラー操作のみ)

●高輝度→中輝度→低輝度→OFF→高輝度の順に変わります。

注 OFF 時には、ディスプレイ右側に青い点が点灯します。

OFF 時に操作をすると、数秒間ディスプレイが点灯し操作を確認できます。
その後自動的に OFF に戻ります。

エアーリンク接続時は、他の機器のディスプレイ輝度を一括してコントロールできます。

I テープ・アウト/Tape Output

- テープ・アウトを出力するには、リモート・コントローラーの  ボタンを押します。

テープ・アウト出力 ON/OFF
(リモート・コントローラー操作のみ)

- テープ・アウトが ON になります もう一度押すと OFF になります。

注 出力される機器の名称がディスプレイで反転表示になります。

注 グランド・ループによる悪影響を避ける為、テープ・アウトが OFF の時は、機器が接続されていても出力は電氣的に切り離されます。

I エアーリンク/AyreLink

- I エアーリンク接続をすると、独立したそれぞれの機器をまるで一つの機器のように操作できます。

注 エアーリンク接続は、フォトカプラーによりグラウンドループの悪影響を排除しています。

注 エアーリンク接続による各機器のパワーON のタイミングは電源の瞬時過負荷を避ける為に時間差をつけています。

I [エアーリンク接続時の操作]

パワーON

- 本機をパワーONにすると、全ての機器が連動してパワーONになります。

注 エアーリンク接続では、各機器のパワーON のタイミングは電源の瞬時過負荷を避ける為に時間差をつけています。

スタンバイ
本体操作のみ

- スタンバイ/パワーON ボタンを 2 秒以上押し続けると、全ての機器がスタンバイになります。

注 エアーリンク接続時に特定の機器だけをスタンバイにするには、本体のスタンバイボタンを瞬間的に押します。

ディスプレイ輝度

- 本機のディスプレイ輝度を変更すると、全ての機器のディスプレイ輝度またはLED輝度も併せて変更出来ます。

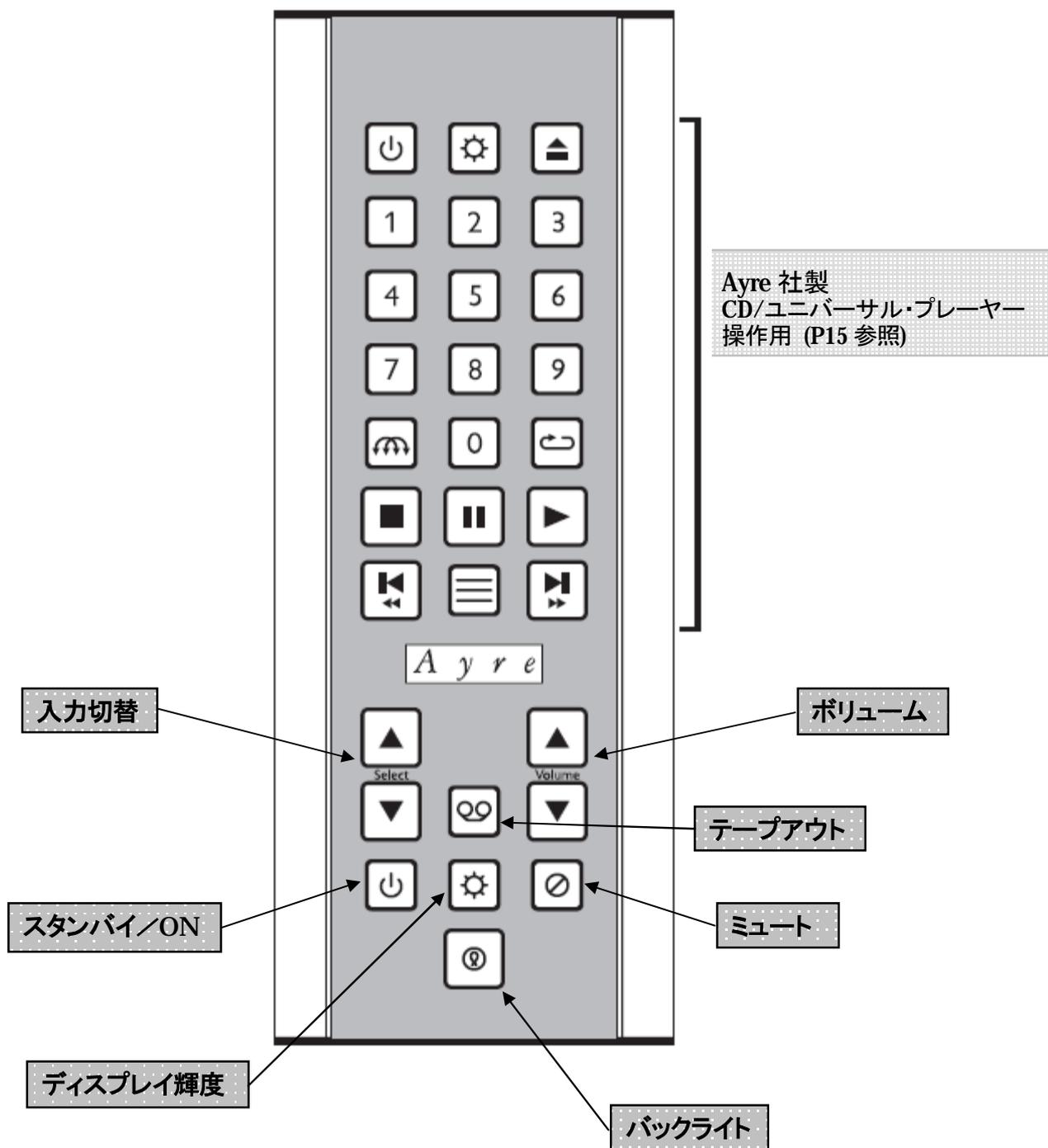
マルチチャンネル・オペレーション

- 複数の KX-R をエアーリンク接続によりマルチチャンネル・システムシステムとして操作できます。

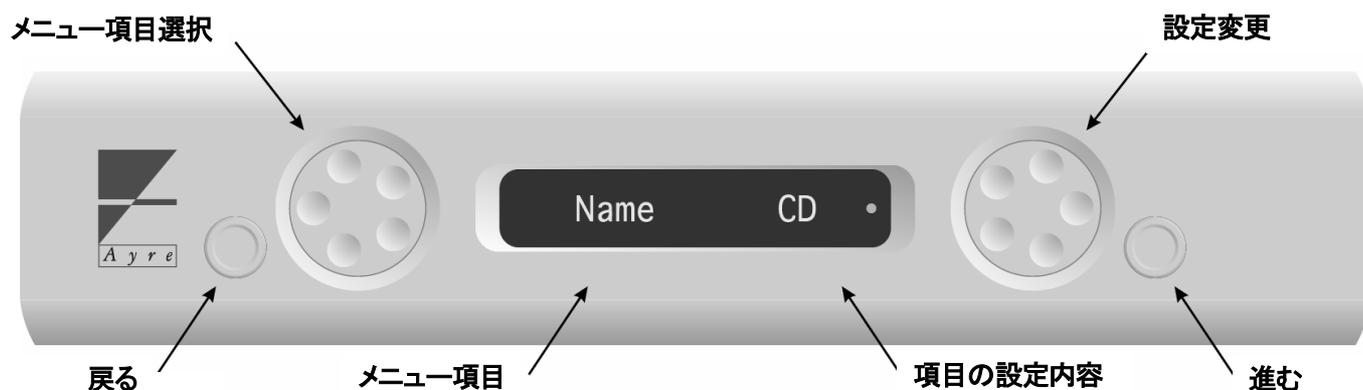
注 いずれかの KX-R の操作が全て連動します。

Remote Control/リモート・コントローラー

(出荷時に電池は装着されています。)



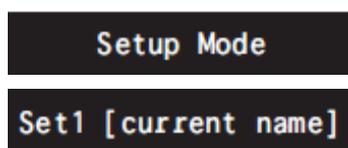
Customization/カスタム設定



- 本機は、8系統の各入力をそれぞれ個別に様々な設定ができます。
 - 注 出荷時設定は8系統の入力機器の名前が Input 1～Input 8 に設定されています。
 - 注 必要に応じて使用しない入力を“Unused(使用しない)”に変更できます。機器の名前が設定された入力のみ入力セレクターで選択できます。

設定項目	設定内容
Name	入力機器の名前
Offset	入力のゲイン
Balance	左右音量バランス
Gain	プロセッサ・パススルー
AyreLink	入力機器とのエアリンク接続設定

● Setup Mode / セットアップ・モード



- カスタム設定を行なうには、まず本機をセットアップ・モードにしなければなりません。セットアップモードにするには、スタンバイの状態ですべてのボタンを約 5 秒間押し続けてください。ディスプレイに Setup Mode の文字が表示され、次に自動的にディスプレイに [Set 入力機器の名前] (出荷時設定では Set 1 Input1) が表示されます。
- セットアップの終了

[Set 入力機器の名前] 表示時に、左ボタンを押します。ディスプレイに“Exiting Setup”と表示され、自動的にスタンバイになります。

出荷時設定

Set1 Input 1
Set2 Input 2
Set3 Input 3
Set4 Input 4
Set5 Input 5
Set6 input 6
Set7 Input 7
Set8 Input 8
Reset

- I **左ノブ** を回転させ、設定する入力を選択し、**右ボタン** を押します。

Name
Offset
Balance
Gain
AyreLink

- I **左ノブ** を回転させ、設定項目を選択し表示させます。

● Name/入力機器の名前

Unused
CD
Phono
DVD
SACD
SSP
Digital
Tuner
Aux
Tape
D/A
CD-R
DAT
Sat
Video
Cable
TV
VCR
LD
PX-R
CX-R
DX-R
P-5xe
C-5xe
CX-7e
D-1xe
Input x
Custom x

- I **右ノブ** を回転させ名前を選択します。

注 Unused(使用しない)を選択すると入力セクターで選択できなくなります。

- I **左ボタン** で前メニューに戻ります。

- I Custom x--- 機器名称を任意に作成できます。

右ノブ を回転させ、Custom x を選び、**右ボタン** で名称作成画面に進みます。先頭の文字が反転表示されていますので**右ノブ** を回転し任意の文字に変更します。**左ノブ** で文字の位置を移動し任意の名称を作成します。作成完了後、**左ボタン** で入力選択画面に戻ります。

使用可能文字
A,B,C.....Z
a,b,c.....z
0,1,2.....9
。(ピリオド)
□(スペース)
- (ハイフン)

● Gain Offset／入力のゲイン調整

Offset +0dB

1 本機は、各入力のゲイン調整により低出力レベル機器の入力ゲインを0dB～6dBの範囲で増加させ高出力レベル機器と音量を揃えられます。

1 **右ノブ**  を回転させ調整値を選択します。

注 調整可能範囲は、0dB～+6dBです。

注 ゲイン調整によりディスプレイに表示される最大音量の数字が“60”より小さくなります。

例:ゲイン調整を6dBに設定すると、ディスプレイ上の最大音量数字は“54”になり、次に最大音量を示す“MAX”が表示されます。

1 **左ボタン**  で前メニューに戻ります。

● Balance／左右音量のバランス

Balance +0dB

1 **右ノブ**  を回転させ調整値を選択します。

注 調整可能範囲は、L/Rチャンネルそれぞれ0dB～+3dBです。

1 **左ボタン**  で前メニューに戻ります。

● Gain／プロセッサー・パススルー

Gain Bypass

1 本機のシステムに接続されているスピーカーをマルチチャンネルシステムで共用する場合、サラウンドプロセッサー等からのフロントL、R信号を本機に入力しますが、サラウンドプロセッサー等のボリュームで音量調節をする為本機のボリュームを固定ゲインにする必要が有ります。

1 通常の接続では、“Gain Normal” の設定で使用します。

1 **右ノブ**  を回転させ Bypass(最大ゲイン)を選択します。

バランス出力時	最大ゲイン = 6dB
シングルエンド出力時(アダプター使用)	最大ゲイン = 0dB

注 Bypassに設定した入力は、ディスプレイに音量レベルが“PP”と表示されます。

注 一般的なソース機器が接続された入力を Bypass(最大ゲイン)に設定すると、音量レベルが最大音量になります。スピーカーの破損を防ぐ為、設定の前に入力番号及び接続を確認下さい。

1 **左ボタン**  で前メニューに戻ります。

● AyreLink／入力機器とのエアークリンク接続設定

AyreLink None

I 将来エアークリンク端子を装備したソース機器を使用する際に設定します。

注 この設定は MX-R とのエアークリンク接続には関係しません。

I 通常は、“AyreLink None”の設定で使⽤します。

I エアークリンク端子を装備したCDプレーヤーと本機をエアークリンク接続し、入力機器の名前をCDに設定すると、CDプレーヤーのパワーONと連動して本機の入力セクターはCDを選択します。

例外的に複数のCDプレーヤーを接続した場合に、入力セクターを連動させる為、共通の認識コード割り当てる必要があります。

I **右ノブ**  を回転させコードを選択します。

認識コード

AyreLink None
AyreLink A, B, C,.....Z

I **左ボタン**  で前メニューに戻ります。

● Reset／リセット

Set1 Input 1
Set2 Input 2
Set3 Input 3
⋮
⋮
⋮
Set8 Input 8
Reset

I **左ノブ**  を回転させ、“Reset”を選択し、**右ボタン**  を押します。

I **右ノブ**  を回転させ“Reset Yes”を選択し、**右ボタン**  を押します。
“Resetting”が表示され、全入力が Unused (使⽤しない) となり、それまで設定していたすべての内容がクリアされます。

その後自動的にセットアップ・モードになりますので必要に応じて各項目の再設定を行なってください。

注 リセットしない場合は、“Reset No” を選択し、**右ボタン**  を押します。

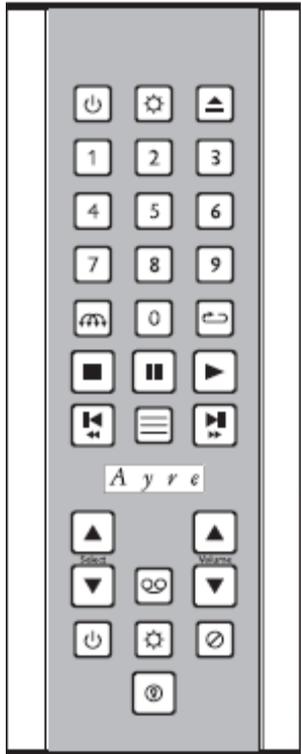
“Cancelled” が表示され前のメニューに戻ります。

Reset? Yes

● リモート・コントローラー（CD／ユニバーサル・プレーヤー 操作）

- I 本機のリモート・コントローラーは、出荷時に C-5xe(ユニバーサル・プレーヤー)操作として設定されています。CX-7e(CD プレーヤー)操作に変更するには、以下の表を参照下さい。

CX-7e 操作へ変更	[7] を5回押す。全ボタンが5回点滅します。
C-5xe 操作へ変更	[5] を5回押す。全ボタンが7回点滅します。
設定の確認	[0] を5回押す。 7回点滅→CX-7e 操作設定 5回点滅→C-5xe 操作設定
[≡] ボタンの機能	CX-7e→無効 C-5xe→”Audio”(音声切替)



CD/ユニバーサル・プレーヤー操作

Fuse/ヒューズ

- 電源ヒューズは、リアパネル AC インレット下の四角形のヒューズホルダー内に有ります。ヒューズを交換する場合はヒューズホルダー上端をドライバー等で引き出して下さい。ホルダー内には2本のヒューズが有り手前側がスペアヒューズになります。
- ヒューズ交換が必要な場合は、奥側のヒューズが切れているのを確認できましたら、手前側のスペアヒューズと交換して下さい。

注 使用ヒューズ : ミゼットタイプ/1A250V/スローブ로우(Slow blow)

Trouble/トラブル

- 本機と MX-R をエアークリック接続している時、MX-R のプロテクション回路が動作すると、本機は即座にスタンバイになり、プロテクション回路の動作原因をエラー・メッセージとしてディスプレイに表示します。

注 本機をパワー-ONにするとエラー・メッセージはクリアされます。

エラー・メッセージ	MX-R プロテクション回路 動作原因
Amp Fuse	内部ヒューズ切れ
Amp Hot	規定以上にアンプが温度上昇した場合
Amp DC Offset	規定以上の DC 出力を検出した場合
Amp AC Low	AC 電圧が規定の 75%を割り低下した場合

Battery/リモート・コントローラーの電池交換

本機は出荷時に電池が装着されています。

本機のリモート・コントローラーは、1.5V単4電池4本を使用します。電池交換は以下の手順を参照下さい。

- リモート・コントローラー下部の蓋を2本のプラスネジを緩め外します。
- バッテリー装着部の表示にしたがって、極性をまちがえないように電池を装着します。
- 蓋を元の通り取り付けます。

! ご注意

- * リモートコントローラーによる操作ができなくなったら、上記の要領で電池を交換してください。
- * 長期間ご使用にならないときは、電池の液漏れを防止するため、電池を抜いてください。

安全に関するご注意

リモート・コントローラー用の電池の取扱について

警告

下記のことは必ず守ってください。電池の使い方を間違えると電池が発熱、液もれや破裂したり、機器の故障やけがなどの原因となります。

- 電池は乳幼児の手の届かない所に置いてください。
- 電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師と相談してください。
- 分解、加熱、火に入れるなどしないでください。
- +-を逆に入れないでください。
- +-をショートさせたり、ネックレスなど金属製のものと一緒に携帯・保管しないでください。
- この電池は充電式ではないので、充電すると液漏れ、破損のおそれがあります。
- 電池に直接はんだ付けしないでください。
- 電池そのものや電池を入れたリモート・コントローラーの置き場所は直射日光・高温・高湿の場所を避けてください。電池には化学物質が入っているので、暑さや湿気は禁物です。特に高温・高湿、直射日光のあたる場所での保管はさげましょう。寿命が短くなるばかりか、破裂・液漏れをおこす恐れがあります。
- 電池の液が漏れて目に入ったり、皮膚や衣服に付着したときは、失明やけがなどのおそれがあるのできれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受けてください。
- 長期間ご使用にならない場合はリモート・コントローラーから電池を外してください。また、使い切った電池は、すぐに機器から取りだしてください。
- 電池の使用推奨期限: リモート・コントローラーの働きが悪くなったりした場合や、また、通常は半年から一年を目安として交換されるようお勧めします。

Specifications/主な仕様

[KX-R: Specifications]

- 入力インピーダンス: 2M Ω バランス (1M Ω per phase)
- ゲイン(@MAX) : +6dB(最大、可変)
- XLR 入出力極性: Pin1=Ground , Pin2=HOT , Pin3=COLD
- 周波数特性: DC~250kHz
- 出力インピーダンス: 300 Ω バランス (150 Ω per phase)
150 Ω シングルエンド
- 電源: 100V AC 50Hz/60Hz
- 消費電力: 35W (スタンバイ/通常定常動作時)
65W (最大/ボリューム操作時)
- 外形寸法: 438W x 292D x 93.5H (mm)
- 重量: 19.0kg
- 付属品: リモート・コントローラー(電池装着)、電源コード、取扱説明書(本書)、保証登録カード

Warranty/保証

本機の保証はアクシス株式会社が行ないます。

同梱の保証登録カードに必要事項をご記入の上、ご購入後 10 日以内に下記宛にご返送ください。

折り返し、保証書をお送りいたします。

無償保証期間は 3 年間です。

保証についての詳細は、保証書をご覧ください。

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 2-34-27

アクシス株式会社

TEL 03-5410-0071 / FAX 03-5410-0622

AXISS

輸入発売元:アクシス株式会社 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-34-27 TEL:03-5410-0071 / FAX:03-5410-0622

E-Mail: post@axiss.co.jp Web Site: www.axiss.co.jp

